

A decorative illustration in the bottom right corner featuring two large, stylized white flowers with yellow centers and green leaves. The background is a solid light pink color. There are also several small, light-colored circular accents scattered around the flowers.



編集：加藤真由美



◆食

今月は、ほぼ「食」に関する活動でした。一月後半から「天龍みそ」の寒仕込みが始まり、今回で四回目のお手伝い。

南信州新聞に掲載して頂いた「南信州うまいもん会議」（二月八・九日）へ伝統野菜協議会のお弁当として八十食出させて頂いたり、先日の「柚餅子シンポジウム」でも天龍村を詰め込んだお弁当を提供させて頂きました。

今ある地のもので季節の献立を考え作ることが多くなり、食材を作る方々の苦労も感じます。お弁当になると色彩も気になりますし、地の安全なもので作りたいとも思うので悩みますが、食材のポテンシャルと、生産者の方々の思いを感じながら考える料理はとても楽しいです。

今後は村の方々にも提供できる形を整えていけたらと思っています。



南信州うまいもん会議

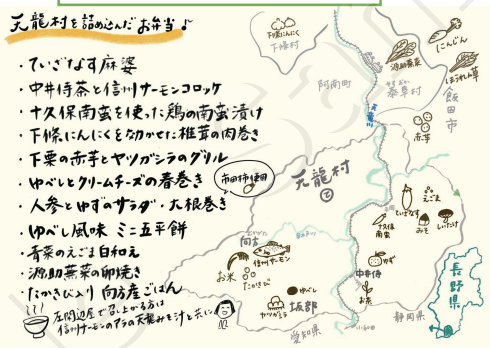


天龍味噌の寒仕込み



加藤まゆみ

延長処置も終わりに近づき、地域おこし協力隊の活動もあとひと月になりました。3年8ヶ月お世話になった天龍村地域おこし協力隊を来月いっぱいにて退任します。今後については3月21日の報告会・ありが隊新聞3月号にてご報告いたします。



今年度の報告会が
行われます。
ぜひ、お越しください

地域おこし協力隊・集落支援員

2025年3月21日（金）
会場：老人福祉センター2F大集会室13:30～15:00

モチコの 天龍やんやんや

文 望月ひとみ

●循環型農業で地域内自給をめざす

岡崎おうはんの鶏さんたちは天龍に来てから約四ヶ月経ち、未だすくすく成長しています。成鳥になるまで（産卵期まで）約一五〇日といわ



れていきますので、あと一か月ほどでおとなに。雄鶏が早朝、コケコッコーと鳴く日も近いかな、と楽しみにしています。広々とストレスなく動き回ることができ、砂浴びができ、止まり木もあり、他の小動物に襲われないような鶏舎を現在整備しているところです。現在市販されているほとんどの卵は、狭いケージに閉じ込められて、動き回ることもできず、（安心・清潔・安全とうたっているところもありますが）鶏にはストレスのかかる状態で管理されて出荷されているもののようなのです。しかも一〇年以上生きられる命であるにも関わらず、生産効率の面から、一、二年で廃鶏という扱いとか。それはどういうことなのか、ここでは書けませんが、意思がある、人と同じ生き物として、家畜だからとか、感謝していただければ正当化される、とかいうこと



ではないと、今回自分自身で養鶏をしていて感じています。今すぐに現在の養鶏や畜産業界に対しどうこう動けるわけではないですが、人がただ享乐的にいいおいしいお肉を求めて品種改良をしたり、低価格で流通させるためだけに効率重視で大量生産し、食材となったお肉を食べきれず簡単に廃棄するような世界では暮らしたくないなあと思います、食生活を見直しているところです。

お肉に限らず、お米や野菜とて同じことです。大量消費経済社会にまみれずに、地元地域でとれる分だけを食べ、余計に穫れた時は備蓄しておく。人口減少で国内消費量が下がるからといって、農産物等を輸出しお金を稼ぐという方法は販路開拓の上等手段になっていきますが、まずは自分たちの食べるものを確保できるのか、と真剣に考えるときだと考えています。地元



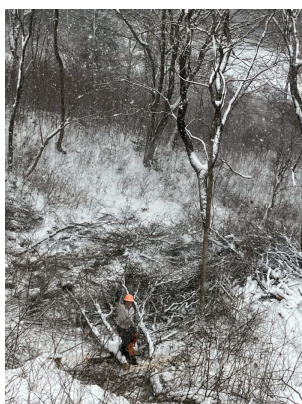
の食材はどんなものがあるのか、誰がどのように作っているのか、どう料理すれば美味しく食べられるか。南信州伝統野菜協議会の活動の一つとして参加した二月八日・九日に開催の飯田市イベントで八十食を完売した「南信州まるごと弁当」（メニュー開発加藤まゆみさん・製造販売は純晴天様）は、食を通じて多くの方がそんなことを考えるきっかけになればと、願っています。

於保樹の活動報告

林業

1月から引き続き2月末までの予定で、原木シイタケのほだぎ用のコナラの伐倒を行っています。作業の流れは大分理解して作業することができるようになりました！ただ、素早い判断ができず常に迷いながら作業を進めてしまっている、必要以上に時間がかかってしまっています。視野を広くし一目で判断できるようにしなければ仕事になりませんね。

また、自分の不注意による怪我をしてしまい、数日仕事ができませんでした。作業も止まり色々な方に迷惑をかけてしまったので以後気を付けます。反省です。



また、これから来年のため菌床シイタケ用の培養室を作る予定です。その培養室を垂木・野地板で作るのですが、その材料に村内の立木を使わせていただくことになりました！

そのための伐倒・搬出作業も、2月から少しずつ進めていきます。遅くとも来月には菌床シイタケの菌床作りも始めなければいけません。

時間があれば薪作り、チップづくりなどやること盛沢山です。

一体どうなることやら。体調を崩さないよう、休みながら頑張っていきます！

